

作成日： 2026年 1月 7日（第1版）

2020年1月から2029年12月に前立腺癌に対して薬物治療を受けられた方へ保存されたカルテのデータを用いて「前立腺癌に対する薬物療法に関する解析」を検討することについて

「前立腺癌に対する薬物療法に関する多施設共同観察研究」へのご協力のお願い

1 研究の概要

【研究の背景・目的】

前立腺がんの薬物治療は、長い間ホルモン療法と化学療法が中心でした。しかし近年、遺伝子変異を標的とした薬や、がん細胞に放射性物質を届ける薬、既存の治療を組み合わせた治療など、新しい薬が次々と登場しています。

一方で、これらの新しい薬は使われ始めてからの期間がまだ短く、実際の医療現場で「どの薬をどの順番で使うのがよいか」「どのような患者さんに効果が出やすいか」などの情報が十分に蓄積されていません。

そこで本研究では、前立腺がんの薬物治療を受けられた患者さんの、診療記録に保存されている治療内容などの情報を集計・解析し、より良い治療の選び方や、患者さんごとの治療効果の特徴を明らかにすることを目的としています。

【研究の対象となる方】

2020年1月から2029年12月に前立腺癌に対して薬物治療を受けられた患者さんを対象とします。

【研究期間】

この研究の実施を許可された日から西暦2031年12月31日まで

ご自身またはご家族がこの研究の対象者に該当すると思われる方で、ご質問等がある場合は、「7 相談やお問合せがある場合の連絡先」へご連絡ください。また、情報をこの研究に使ってほしくない場合もご連絡ください。その時点であなたの情報を研究対象から取り除きます。ただし、研究の進捗状況によっては、あなたの情報を取り除くことができない場合があります。

この研究は、名古屋市立大学医学系研究倫理審査委員会の審査を受け承認されたうえで、研究機関の長から実施の許可を受けています。また、この研究が適正に実施されているか、継続して審査を受けます。

この委員会にかかわる規程等は、以下のWebサイトでご確認いただけます。

【名古屋市立大学病院臨床研究開発支援センター “患者の皆さまへ”】

URL : <https://ncu-cr.jp/patient>

2 研究の方法

この研究では、研究対象の方の診療情報を電子カルテから収集して利用します。プ

ライバシーにかかわる情報に十分に配慮し、各研究機関の研究者が電子カルテのデータから、年齢や血液検査データ、病気の状況、どのような経過をたどられたかを調査します。

共同研究機関から研究事務局へ情報を提供する際は、特定の個人を識別できる情報を削除した状態のデータのみを提供します。名古屋市立大学の研究者等が各研究機関を訪問して回収、またはセキュリティ対策を行ったパーソナルコンピュータを用いて、電子メールにて研究事務局にデータを送付し、回収した情報は名古屋市立大学が責任を持って管理し、それらのデータを集積して、合併症や予後、転帰などを検討いたします。

3 この研究で用いるあなたの試料・情報の内容について

この研究では、あなたが薬物治療を受けられてからの、以下の診療情報を利用します。

- 背景情報：年齢、性別、身長・体重、現病歴、既往歴、家族歴
- 治療歴：治療薬、投与量、治療開始日、その後 10 年まで（最長 2030 年 12 月 31 日まで）の副作用やあなたの健康状態の経過
- 血液検査所見：白血球数、好中球数、リンパ球数、好酸球数、単球数、血小板数、Hb 値、アルブミン値、乳酸脱水素酵素、アルカリフォスファターゼ、CRP、PSA
- 画像検査所見：CT や MRI で得られた転移の個数、サイズ場所
- 画像データ：筋肉量、脂肪量

4 研究の実施体制

この研究は、名古屋市立大学を中心として、複数の研究機関が共同で実施します。実施体制は以下の通りです。

	研究機関の名称	研究責任者	研究機関の長
研究代表機関	名古屋市立大学	内木 拓※ ※西部医療センター所属ですが、名古屋市立大学の研究者として本研究を実施します。	郡 健二郎
共同研究機関	名古屋市立大学医学部附属東部医療センター	岩月 正一郎	林 祐太郎
	名古屋市立大学医学部附属西部医療センター	梅本 幸裕	大原 弘隆
	名古屋市立大学医学部附属みどり市民病院	河合 憲康	浅野 實樹
	安城更生病院	黒川 覚史	度会 正人

	いなべ総合病院	安藤 亮介	相田 直隆
	海南病院	窪田 裕樹	奥村 明彦
	蒲郡市民病院	中根 明宏	安藤 朝章
	江南厚生病院	坂倉 毅	河野 彰夫
	菰野厚生病院	金本 一洋	小嶋 正義
	大同病院	神谷 浩行	野々垣 浩二
	豊川市民病院	遠藤 純央	佐野 仁
	豊田厚生病院	橋本 良博	服部 直樹
	名古屋徳洲会総合病院	秋田 英俊	加藤 千雄

5 個人情報等の取り扱いについて

あなたの情報は、氏名等の個人を特定する内容を削除し、代わりに符号をつけた状態で取り扱います。あなたの氏名等とこの符号とを結びつける対応表は、あなたの情報を頂いた機関で厳重に管理し、個人を特定する情報を外部に提供することはありません。また、この研究の成果を学術雑誌や学会で発表する際も、そこに含まれるデータがあなたのものであると特定されることはありません。

6 この研究の資金源および利益相反について

企業等の関与により研究の公正さが損なわれる可能性がある状態のことを、「利益相反」といいます。企業等から研究資金の提供を受けている場合等には、利益相反を適切に管理する必要があります。

この研究は資金を必要とせず、企業等からの資金の提供はありません。利益相反の状況については、名古屋市立大学大学院医学研究科医学研究等利益相反委員会に必要事項を申告し、適切に管理しています。

また、共同研究機関においても各機関の規程に従い、適切に対応しています。

7 相談やお問合せがある場合の連絡先

この研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究の計画について詳しくお知りになりたい場合は、研究に参加している他の方の個人情報や研究の知的財産等に影響しない範囲で、資料をお渡ししたり、お見せしたりすることが可能です。

また、この研究にあなたの情報が利用されることや、他の研究機関へ提供されることを希望されない場合は、電話によりご連絡ください。

【連絡先】

名古屋市立大学大学院医学研究科 腎・泌尿器科学分野

住所：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄 1

電話番号：052-853-8266

対応者：恵谷 俊紀

【研究代表機関】

研究機関名：名古屋市立大学大学院医学研究科

研究代表者：腎・泌尿器科学分野 内木拓

連絡先：電話：052-853-8266